

日本版DMO形成・確立計画

1. 日本版DMOの組織

申請区分	地域連携DMO	
日本版DMO候補法人の名称	一般社団法人豊の国千年ロマン観光圏	
マーケティング・マネジメント対象とする区域	区域を構成する地方公共団体名 大分県別府市、中津市、宇佐市、豊後高田市、国東市、杵築市、日出町、姫島村	
所在地	大分県別府市	
設立時期	平成29年4月3日設立	
職員数(理事数)	3人(19名以内)	
代表者(トップ人材:法人の取組について対外的に最終的に責任を負う者)	(氏名) 田北 浩司 (別府市観光戦略部部長)	別府市観光戦略部部長。別府市の観光における責任者であり、(一社)豊の国千年ロマン観光圏の代表理事として広域観光圏の責任者も担う。
代表者(トップ人材:法人の取組について対外的に最終的に責任を負う者)	(氏名) 西田 陽一 (別府市旅館ホテル組合連合会 会長)	別府市旅館ホテル組合連合会会長。おんせん県おおいた観光誘致協議会の会長も務め、大分県ともパイプを持つ。
各種データの分析・収集の責任者(専門人材)	(氏名) 堤 栄一郎(専従)	豊の国千年ロマン観光圏の事務局長として、事業全体の進捗管理、収集したアンケートの集計・分析などを行っている。
プロモーションの責任者(専門人材)	(氏名) 三浦 孝典 (一社)杵築市観光協会)	(株)サンリオ・コミュニケーション・ワールド(現(株)サンリオエンターテイメント)で約20年間にわたり国内外からの集客業務を担当。 平成23年から杵築市観光協会の事務局長に就任。市役所内から分離独立(民営化)した組織の初代事務局長として、県内の観光振興に力を尽くす。 また、観光地域づくりマネージャー代表として豊の国千年ロマン観光圏のけん引役を務める。
人材育成部門の責任者(専門人材)	(氏名) 佐藤 隆 (日出町観光協会)	日本旅行に長年勤務した経験を持つ。地域資源を活かした観光振興に取り組んでおり、幅広い人脈をもち、人材育成において高い知見と能力を持っている。 観光地域づくりマネージャー副代表を務める。
滞在プログラムの造成・販売部門の責任者	(氏名) 小野 辰浩 (一社)宇佐市観光協会)	宇佐市観光協会事務局長。宇佐神宮を中心とするこの地域の歴史に精通し、歴史・文化を活かした世界でもここにしかない滞在プログラムの実施などに取り組む。滞在プログラムワーキンググループのリーダーを務め、ガイド育成等にも尽力している。
連携する地方公共団体の担当部署名及び役割	<ul style="list-style-type: none"> ・関係市町村観光担当課、大分県観光地域振興課、大分県東部振興局、大分県北部振興局(観光戦略) ・各市町村交通担当課(地域公共交通) 	

(別添) 様式 1

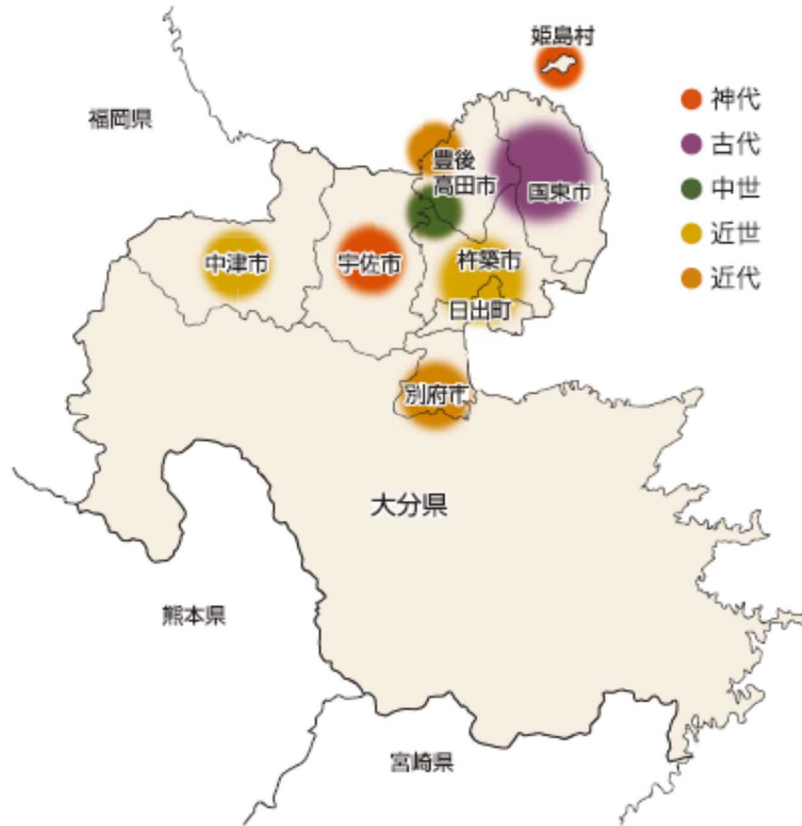
<p>連携する事業者名及び役割</p>	<p>公益社団法人ツーリズムおおいた、各市町村観光協会 道の駅、里の駅、飲食業組合、宇佐国東半島を巡る会、国東半島峯道ロング トレイルクラブ、JR九州、大分県グリーンツーリズム研究会等（滞在プロ グラム開発・情報発信） 大分航空ターミナル、旅館ホテル組合等（滞在プログラム販売） 商工会議所、商工会等（ふるさと名物の開発） バス協会、タクシー協会、レンタカー協会、フェリー会社等（交通対策）</p>
<p>官民・産業間・地域間との持続可能な連携を図るための合意形成の仕組み</p>	<p>（該当する要件） ②日本版DMOが行う取り組みに関する合意形成の手順として、地域住民、民間団体とネットワークを持つ観光地域づくりマネージャー（観光協会等）を中心に企画・立案し、その案を行政関係者が入る戦略会議にて再度議論し承認、実施を行っている。 （概要） ・圏域内の行政および観光協会、観光地域づくりマネージャー（観光庁認定）がメンバーとなる会議等を月に1度以上開催し、情報共有、事業執行状況の確認等を行ったうえで合意形成を図る。 ・観光地域づくりマネージャーが主体となり、事業計画を作成し実行していくとともに必要に応じて民間事業者の意見を反映できる観光地域づくり推進体制をつくる。</p>
<p>地域住民に対する観光地域づくりに関する意識啓発・参画促進の取組</p>	<p>各地域にて住民参加型のワークショップを開催するほか、地域住民への啓発を目的としたシンポジウムを開催。 公式 facebook を活用した情報発信など。</p>
<p>法人のこれまでの活動実績</p>	<p>平成29年4月3日に設立</p> <p>【参考】 以下の活動は、任意団体（豊の国千年ロマン観光圏協議会）の実績 （活動の概要） 【平成22年度】 観光庁から認定を受け、大分県北部地域の8市町村（別府市・中津市・宇佐市・豊後高田市・国東市・杵築市・日出町・姫島村）で構成する「豊の国千年ロマン観光圏」の取り組みがスタート。【豊の国千年ロマン時空の旅】というコンセプトの基、歴史・温泉・食をテーマにした事業を各市町村、民間団体の協力により実施した。 （主な事業） ガイド研修会の開催、観光ガイドブックの作製、コンセプトに沿った町歩きガイドブックの作製、観光圏HPの作製など</p> <p>【平成23年度】 観光庁補助事業は実施しなかったが、文化庁補助事業、大分県の補助事業、委託事業等を活用して、前年度に引き続き、歴史・温泉・食をテーマとした事業を実施した。 （主な事業） 小倉駅からワンコインバスを運行、歴史シンポジウムの開催、ガイドマニュアル本の作製、別府八湯温泉道特別編（千年ロマン編）の実施、グルメガイドブックの作製・販売、観光圏HPの機能強化など</p> <p>【平成24年度】 観光庁の観光地域づくりプラットフォーム支援事業を活用し、石丸謙二郎講</p>

	<p>演会、千年ロマン夜学の開催、地元向けのワークショップやセミナーなどを開催した。第1回千年ロマン時空博に向けて20プランを造成した。</p> <p>(主な事業)</p> <p>地域づくり研修会の開催、博多駅・小倉駅からの周遊バス運行、豊の国千年ロマンチスト検定の実施、コンセプトに沿ったガイドブック「時の旅」を作製など</p> <p>【平成25年度】</p> <p>第1回千年ロマン時空博を開催。実施したプランが商品造成につながった(JR九州旅行)。千年ロマン夜学、千年ロマンチスト検定も継続して実施。第2回千年ロマン時空博に向けて、46プランを造成した。また、「整備計画」「整備実施計画」を新たに作成し、新観光圏2次募集時に申請を行った。</p> <p>(主な事業)</p> <p>第1回千年ロマン時空博の開催、現地ガイド研修会、観光庁主催のワークショップ、マネージャー研修への参加</p> <p>【平成26年度】</p> <p>7月4日に新観光圏の認定を受けた。</p> <p>圏域全体及び各市町村の観光地域ブランド確立のため、委託先のアドバイザーとマネージャー、各市町村の行政担当者が中心となりブランド戦略の策定を行った。</p> <p>旅行エージェント向けのパンフレット作製を行った。</p> <p>(主な事業)</p> <p>第2回千年ロマン時空博の開催、ブランド戦略策定、豊の国千年ロマン観光圏フォーラムの開催、北九州・山口地区でのPRイベント、パブリシティを活用した情報発信など</p> <p>【平成27年度】</p> <p>ここにしかない価値、歴史、文化を活用した一丁目一番地の滞在プログラムとして、圏域内の周遊を促進するため、宇佐神宮の幻の特殊神事である行幸会をモチーフとした「千年ロマン周遊ラリー」を実施。同じく、行幸会をモチーフとした「千年ロマンウォーク」を開催した。</p> <p>全国12観光圏と共同で「全国観光圏シンポジウム」を東京・品川で開催。観光圏が目指すもの、各観光圏の取り組み等を発表した。</p> <p>東九州自動車道開通対策として福岡市、北九州市からの誘客を図るため、プロモーションおよび雑誌などにモデルコースを掲載した。</p> <p>(主な事業)</p> <p>滞在プログラムの造成、周遊観光コースの造成、全国観光圏推進協議会事業、二次交通対策実証事業、宇佐国東半島観光文化促進事業、国東半島峯道ロングトレイル事業、東九州自動車道開通対策事業など</p> <p>【平成28年度】</p> <p>一般社団法人化を目指し、各市町村の負担金を増額することで組織運営を安定的なものとするとともに、旅行業を活かした収益事業の実施を視野に入れた組織とすることとした。当エリアのワンストップ窓口(プラットフォーム)となるべく、広域ガイドの手配、各観光案内所での相互交流、送客を視野に入れた人材育成事業の他、ターゲットにしている欧州でのプロモーション・セールス、九州の観光圏との連携事業などを実施した。</p>
--	---

<p>実施体制</p>	<p>(実施体制の概要)</p> <p>(一社) 豊の国千年ロマン観光圏のメンバーには、行政、宿泊業関係者、交通事業者など多様な関係者も参画し、官民が密接に連携した運営を実施。プロジェクトに沿ったワーキンググループのもとで具体的な事業立案を行い、マネージャー会議、戦略会議、幹事会と会議を重ねて合意形成を図る。</p> <p>(実施体制図)</p> <div style="text-align: center;"> <p>組織体制</p> <p>(一般社団法人豊の国千年ロマン観光圏)</p> </div> <p>※名簿参照</p>
-------------	--

2. 日本版DMO候補法人がマーケティング・マネジメントする区域

【区域の範囲が分かる図表を挿入】



【区域設定の考え方】

地域全体としては、日本有数の温泉地である別府に加え、宇佐神宮の影響を受け国東半島で栄えた「六郷満山文化」など、古代から中世、明治、大正、昭和と千年の時の流れを感じることができるほど歴史的な地域資源が豊富である。中でも、「宇佐神宮」、「富貴寺大堂」という2つの国宝をはじめ、数々の史跡など総体として魅力を発信する地域であり、誘客力を十分有しているといえる。

平成22年から、区域を構成する地方公共団体で豊の国千年ロマン観光圏協議会を設置しており、顧客視点に立ち、旅行商品の開発など連携した取組を実施。平成29年4月3日に一般社団法人豊の国千年ロマン観光圏を設立。豊の国千年ロマン観光圏協議会の事業を継承した。

また、観光資源の面からみてもコンセプトとして共通する点が多く、当該市町村で連携した区域設定とするのが適切である。

【観光客の実態等】

当圏域は、全国4万社余りある八幡社の総本宮である「宇佐神宮（国宝）」をはじめとした数多くの歴史遺産、九州最古の木造建築物「富貴寺（国宝）」、国内最大級の熊野磨崖仏、重要文化財の仏像9体を有する「真木大堂」など六郷満山文化ゆかりの史跡、中世の荘園集落の姿を今にとどめる「田染荘」、近世の3城下町（中津、杵築、日出）、日本を代表する温泉地別府など観光資源が豊富にあり、別府市においては、年間200万人を越える国内の宿泊客、約25万人の外国人宿泊客がある。

一方、その他の地域においては、知名度不足やアクセス不便、受入環境が整っていないことから、

(別添) 様式 1

観光客増加に結びついていない。

また、外国人観光客の全体は増加しているが、韓国、台湾をはじめとしたアジアからの観光客が90%以上を占め、当圏域がターゲットとしている欧州・豪州からの観光客は少ない状況にある。

《参考》

区域内の市町村にある主な観光施設等の観光客数は以下のとおりである。

- ・別府八湯（別府市）・・・年間約816万人
- ・宇佐神宮（宇佐市）・・・年間約160万人
- ・中津城（中津市）・・・年間約35万人
- ・きつき城下町ほか（杵築市）・・・年間約100万人
- ・昭和の町（豊後高田市）・・・年間約40万人

【観光資源：観光施設、商業施設、自然、文化、スポーツ、イベント等】

《主な観光施設・商業施設》

- ・別府地獄めぐり（別府市）
- ・別府市竹細工伝統産業会館（別府市）
- ・別府ロープウェイ（別府市）
- ・地獄蒸し工房 鉄輪（別府市）
- ・的山荘（日出町）
- ・杵築城（杵築市）
- ・杵築城下町と武家屋敷（杵築市）
- ・昭和の町（豊後高田市）
- ・中津城（中津市）
- ・福澤諭吉旧居（中津市）
- ・黒田官兵衛資料館（中津市）

《自然・文化》

- ・宇佐神宮（国宝・宇佐市）
- ・富貴寺大堂（国宝・豊後高田市）
- ・六郷満山寺院（両子寺、文殊仙寺、天念寺など）
- ・国東半島宇佐地域（世界農業遺産認定エリア）
- ・豊後高田市田染荘小崎地区の農村景観（重要文化的景観）
- ・別府の湯けむり・温泉地景観（重要文化的景観）
- ・別府湾岸・国東半島海辺の道（日本風景街道）
- ・おおいた姫島ジオパーク（日本ジオパーク認定）
- ・耶馬溪（新日本三景）

《スポーツ・イベント等》

- ・行幸会の道千年ロマンウォーク（中津市、宇佐市、豊後高田市、国東市、杵築市）
- ・別府温泉まつり（別府市）
- ・城下かれいまつり（日出町）
- ・ホーランエンヤ（豊後高田市）
- ・姫島盆踊り（姫島村）
- ・放生会（宇佐市）
- ・ケベス祭り（国東市）
- ・修正鬼会（国東市・豊後高田市）
- ・ひなまつり（中津・杵築・日出）

(別添) 様式 1

- ・ 第 33 回国民文化祭・おおいた／全国障がい者芸術・文化祭
- ・ 六郷満山開山 1300 年祭
- ・ 鶴見岳一気登山 (別府市)
- ・ とみくじマラソン (国東市)
- ・ ツール・ド・国東 (杵築市、国東市、豊後高田市)
- ・ 2019 年ラグビーワールドカップ開催都市 (※大分市)

※試合会場となる大分市は設立予定法人がマネジメント・マーケティングする別府市と隣接しており、別府市はニュージーランド代表チームのキャンプ誘致活動を行っている。

各地にある観光資源は、それぞれ時代が異なっており (神代から近代まで)、それぞれを結びつけることで、周遊・滞在を促進することができる。神代から中世にかけては、神話の島「姫島」、宇佐神宮から国東半島の六郷満山文化、田染荘の荘園風景など、近世から近代までにかけては中津、杵築、日出のそれぞれ魅力ある城下町文化の体感、豊後高田で復興した昭和の町並み「昭和のまち」、別府の共同温泉文化まで千年を超える歴史をテーマとして広域的に周遊できる。

【宿泊施設：域内分布、施設数、収容力、施設規模等】

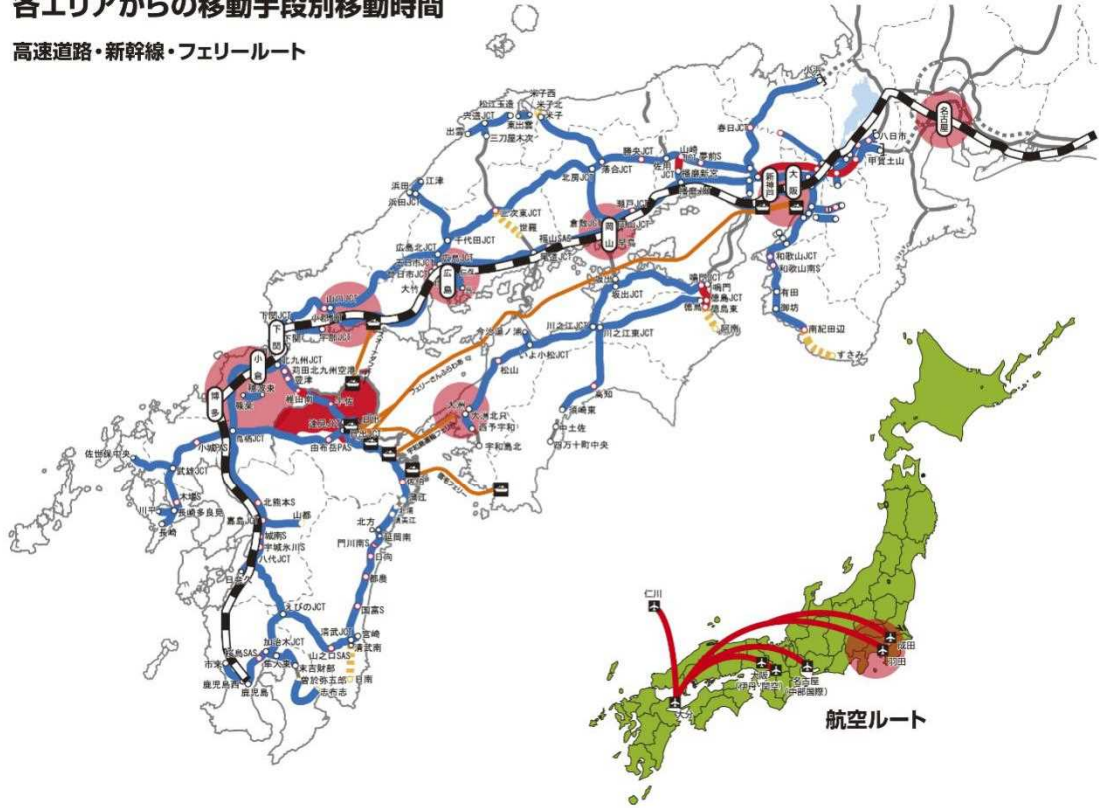
市町村名	施設数	収容力	備考
別府市	108	4,419 室 14,449 人	※旅館ホテル組合加盟施設のみ
中津市	19	773 室 1,581 人	
宇佐市	12	211 室 781 人	
豊後高田市	9	237 室 480 人	
国東市	23	266 室 959 人	
杵築市	12	638 人	
日出町	4	580 室 1,188 人	
姫島村	9	288 人	

(別添) 様式 1

【利便性：区域までの交通、域内交通】

各エリアからの移動手段別移動時間

高速道路・新幹線・フェリールート



■ 観光圏エリアの交通

国際線の航空アクセスは、羽田・成田・中部国際・関西国際に加え、韓国仁川とあり、外国人観光客のアクセスは、首都圏では羽田・成田からの航空便。関西圏からは関西国際での乗り換えかJR移動の動線になる。

観光圏エリア周遊は、JRもしくは大分空港からのレンタカーが主になり、国内外からの来訪者受け入れには、二次交通の整備が現状としては必要になる。

※ 別府駅着の時間で算出
 ※ 交通が赤色のマークは各エリアの主な移動手段

東京	 羽田発・約1時間35分(バス込2時間20分) 成田発・約2時間(バス込2時間45分)
	 東京駅-別府駅 約6時間20分
名古屋	 中部発・約1時間10分 (バス込1時間55分)
	 名古屋駅-別府駅 約4時間40分
大阪 神戸	 伊丹発・約1時間5分 (バス込1時間50分)
	 新大阪駅-別府駅 約3時間50分
	 スオーナダフェリー(徳山-竹田津) 約2時間
	 宇和島運輸フェリー(八幡浜-別府) 約2時間45分
	 さんふらわあ(大阪-別府) 約11時間45分
	 さんふらわあ(神戸-大分) 約11時間20分

岡山	 岡山駅-別府駅 約2時間55分
	 約6時間
広島	 広島駅-別府駅 約2時間20分
	 約4時間
下関 小倉	 約1時間30分
	 約1時間45分

【利便性：区域までの交通、域内交通】



《空路》

国東市にある大分空港の路線は、国内5路線（東京（羽田・成田）、大阪（伊丹）、大阪（関西※現在運休中）、名古屋（中部国際空港））に加え、国外2路線（ソウル（仁川）、台中）が運航している。

大分空港周辺にはレンタカー会社も多くあり、圏域内市町村への向かう路線バスまたはアクセスバスが運行している。

《陸路・自動車》

圏域内の自動車での移動は東九州自動車道（有料）、大分空港道路（無料）を利用することで係る時間は概ね1時間程度である。

《陸路・鉄道》

J R（日豊本線）の駅が、中津・宇佐・杵築・日出・別府にある。特別急行ソニックを利用することで福岡市まで約2時間で移動できる。

《海路》

別府市にある国際観光港からは、大阪府へ向かうフェリー、愛媛県八幡浜へ向かうフェリーが運航している。また、竹田津（国東市）と徳山（山口県）を結ぶフェリーも運航している。

【外国人観光客への対応】

別府市にある別府外国人観光客案内所（J N T O 認定外国人観光案内所：カテゴリー2）には翻訳されたパンフレットはもちろん、ネットの設備もあり、外国の方が別府市の歴史や観光スポットを訪れる際は、同施設を利用して旅を満喫できるようサービスを提供している。

J N T O 認定外国人観光案内所は上記のほかに、「杵築駅観光案内所（カテゴリー2）」「杵築市観光案内所」「道の駅くにさき くにさき観光案内所」（全てカテゴリー1）があり、各案内所との連携を図ることによって、広域の観光案内も可能となる。

圏域内では自治体・観光協会等の取り組みにより、W i f i 環境、トイレの整備、多言語パンフレットの整備なども進んできている。

3. 各種データ等の継続的な収集・分析

収集するデータ	収集の目的	収集方法
旅行目的・同行者	来訪者が当地域に何を目的に、誰と訪れているかを調査し、今後の観光振興策に活かしていくため。	アンケート調査（聞き取り調査・宿泊施設留め置き調査/郵送回収）を実施する。
旅行消費額	当地域での消費額を調査することで、今後の観光振興策の基礎資料として活用するため。	
情報収集の手段	来訪者が何をみて当地域を訪れているかを調査することで、広告等を実施するにあたって効果的な手段について参考にするため。	
来訪者の総合満足度	当地域を訪れた観光客の総合満足度を調査し、今後の観光振興策の基礎資料として活用するため。	
来訪者の再来訪意向	当地域を訪れた観光客の再来訪意向を調査し、今後の観光振興策の基礎資料として活用するため。	
リピーター率	当地域を訪れた観光客のリピーター率を調査し、今後の観光振興策の基礎資料として活用するため。	
延べ宿泊者数	当地域で宿泊した観光客の数を調査し、今後の観光振興策の基礎資料として活用するため。	
WEBサイトのアクセス状況	地域に対する顧客の関心度や施策の効果等を把握するため。	グーグルアナリティクスを活用して実施。

4. 戦略

(1) 地域の強みと弱み

	好影響	悪影響
内部環境	強み (Strengths) ・宇佐神宮・六郷満山文化という唯一無二の資源 ・神代から近代まで歴史を体感できる「時空の旅」の素材が豊富 ・別府市は温泉資源が豊富で、留学生が多い	弱み (Weaknesses) ・知名度不足 ・国東半島地域における公共交通アクセスの不便 ・外国人受入環境の整備
外部環境	機会 (Opportunity) ・2016年（平成28年）東九州自動車道の全線開通 ・2018年（平成30年）に開山1300年を迎える六郷満山文化 ・2019年（平成31年）ラグビーW杯の開催（大分市が試合会場となる） ・2020年（平成32年）東京五輪&東京パラリンピック開催	脅威 (Threat) ・他の観光地との競争激化 ・外国人観光客（アジア・欧州等）のニーズの多様化 ・発地への情報発信の多様化

(2) ターゲット

<p>○国外ターゲット層 欧・豪の富裕層</p>
<p>○選定の理由</p> <p>当圏域は、神仏習合発祥の地である宇佐神宮を中心として繁栄した六郷満山文化をはじめ、世界農業遺産に認定された循環型農業、日本を代表する温泉地別府など、歴史、自然、文化が色濃く残り、日本の原風景を数多く感じることができる地域であるとともに、じっくり、ゆっくり、歩くくらいの速度で巡ることが、最大の魅力である。</p> <p>よって、当圏域の魅力に対して価値を感じることで、また、長期的な滞在が必要になることから、欧豪の富裕層を対象としている。</p> <p>なお、当圏域内にある、主に英語圏の外国人を対象としたツアー会社「Walk Japan」では、上述の魅力を活かしたツアー（5泊～10泊程度）を企画し、当圏域に年間約200人の高単価旅行客を受け入れている。</p>
<p>○取組方針</p> <p>全国13観光圏で連携し、ゴールデンルートに代わる新たな観光地域として情報発信を行っていくとともに、当観光圏を構成する市町村・観光協会が出展する旅行商談会、イベント等でも情報発信を行い、当地域への誘客を図っていく。</p> <p>また、外国人受入環境の整備についても、大分県や市町村等によって進められており、今後もストレスフリーの環境づくりを進めていく。</p>
<p>○国内第1ターゲット層 福岡県・宮崎県・山口県・広島県</p>
<p>○選定の理由</p> <ul style="list-style-type: none">・九州のヒト・モノ・情報が集まる一大マーケットである。(福岡県)・平成28年4月の東九州自動車道全線開通により、アクセス環境が格段に向上した。(福岡県、宮崎県、山口県、広島県)・当圏域に対する十分な需要が見込める。(福岡県及び広島県において、当圏域に対する需要調査を継続実施中) <p>○取組方針</p> <p>大分県と連携をはかりながらプロモーション活動を実施していく。また、ターゲットエリアで「千年ロマン倶楽部」(登録無料の会員制度)の加入者を募り、主催するイベント等の案内をDM等で発送し、誘客を図っていく。</p>
<p>○国内第2ターゲット層 関東</p>
<p>○選定の理由</p> <ul style="list-style-type: none">・国内最大のマーケットである。・圏域内にある大分空港を結ぶ航空便が豊富にある。・当圏域への宿泊客が福岡県に次いで多い。・滞在日数が長い。 <p>○取組方針</p> <ul style="list-style-type: none">・その他13観光圏及び大分県と協働し、パブリシティを中心としたプロモーション活動を行う。

(3) コンセプト

① コンセプト

『千年の記憶がひもとく 知られざる日本』 —千年ロマン時空の旅—

② コンセプトの考え方

千年の記憶・・・千年を超えて受け継がれてきたこの地で暮らす人々の語りの記憶。
それぞれの時代の痕跡が今もなおその姿を残す場所の記憶。

知られざる日本・・・表舞台の「都」の歴史文化では語れない、もう一つの日本の歴史文化。
宇佐神宮・六郷満山文化に秘められた神仏習合の歴史。
どこか忘れてしまっているようなかつてあった日本の生活文化。

コンセプトストーリー

大分県 8 市町村に息づく神代・古代・中世・近世・近代の千年を超える歴史。現在の日本を形づくってきた歴史が記憶となってこの地に刻まれている。それはこの地で生きぬいてきた人々の記憶であり、絶え間なく受け継がれてきた場所文化の記憶として残されている。
奈良・京都・大阪・江戸などの表舞台で繰り広げられたいわゆる日本史とは異なる歴史がこの地にある。語り、紡がれた知られざる日本の物語を千年の記憶がひもといてゆく。
千年ロマン時空の旅は、知られざる日本の姿を時空を超える旅でひもといていくもの。その鍵は、旅の中で出会う今を生きる人々の語りの中に隠されている。

5. 関係者が実施する観光関連事業と戦略との整合性に関する調整・仕組み作り、プロモーション

項目	概要
戦略の多様な関係者との共有	日本版DMO組織を中心として、地域の関連事業者を集めてコミュニケーションの場を設け、情報共有、共通認識を図っていく。 実施体制 (P4) の通り、事務局会議 (必要に応じて) ⇒ マネージャー会議 (月 1 回以上) ⇒ 戦略会議 (2 ヶ月に 1 回以上) ⇒ 幹事会 (年 3 回以上) ⇒ 理事会 (年 2 回) ・ 総会 (年 1 回) と会議を重ねる。 マーケティングデータに基づく戦略づくり。

(別添) 様式 1

観光客に提供するサービスについて、維持・向上・評価する仕組みや体制の構築	宿泊施設の認証制度「サクラクオリティ」を全国の観光圏と連携して実施。
一元的な情報発信・プロモーション	ワンストップ窓口の設置 県及び各市町村と連携し、効果的なプロモーションを実施 旅行業を活用し、圏域内を周遊する旅行商品の販売。 ブランドコンセプトに基づく圏域内の体験プログラム等の販売。

6. KPI (実績・目標)

(1) 必須KPI

	単位	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年
●旅行消費額 主たる滞在促進地区	円	11,937	10,922	11,111	12,402	13,797
●延べ宿泊者数 主たる滞在促進地区	千人泊	2,426 (275)	2,557 (344)	2,348 (340)	2,580 (377)	2,735 (490)
●来訪者満足度	%	85.9	85.1	88.4	90.4	92.4
●リピーター率	%	—	58.2	55.0	58.2	60.2

※全ての目標数値は豊の国千年ロマン観光圏整備計画に準拠しています。

※年次及び目標数値の設定にあたっての検討の経緯及び考え方

【検討の経緯】

目標値は状況を見ながら常に見直しを検討する。例えば平成28年は熊本地震により大きく数字に影響したため、目標値の見直しを行い、次年度に回復する目標値を設定した。

【設定にあたっての考え方】

●旅行消費額

日本版DMOとしてこの地域にお金を落とす仕組みづくりを担っていくにあたり、旅行消費額が向上しているかどうかは成果目標の一つ。

熊本地震を受けて、日本銀行大分支店が平成28年4月～12月の旅行消費額について『16.4%減少』と試算したため、当観光圏の平成28年度の目標値は前年度目標値の15%減少とする。

平成29年度は、平成27年度実績並みまで回復することを目標値とする。

●延べ宿泊者数

滞在交流型観光を目指すこと、滞在時間の延長を図るには宿泊が必須。

旅行消費額同様、平成29年度に平成27年度実績並みまで回復することを目標値とする。

●来訪者満足度

リピーターを獲得していくにあたり、来訪者の満足度を把握する必要がある。

来訪者満足度調査の手法が、平成27年度からより詳細な調査(7段階評価)に変わったた

(別添) 様式 1

め、平成26年度の調査(3段階評価)と単純比較をすることが出来ないが、この機会に新たな目標値を設定する。平成27年度の総合満足度調査で「大変満足」「満足」「やや満足」の割合が85.1%だったことから、平成28年度以降は2%ずつ上昇することを目標値とする。

●リピーター率

地域活性化のためにはリピーターの獲得が欠かせない。当然成果目標の一つとする。平成29年度は、平成27年度実績並みまで回復することを目標値とし、それ以降は2%ずつの向上を目指す。

(2) その他の目標

	単位	平成26年 (度)	平成27年 (度)	平成28年 (度)	平成29年 (度)	平成30年 (度)
●観光圏HPの年間アクセス数	回	156,631	85,641	62,353	80,000	100,000
●滞在コンテンツ利用者数	人	203 (0)	257 (0)	512 (12)	750 (75)	1,000 (100)
●来訪者満足度 (大変満足)	%	—	15.7	25.6	26.0	27.0
●1年以内の再来訪意向	%	—	17.5	19.2	21.0	23.0

※項目及び年次・目標数値の設定にあたっての検討のプロセス及び考え方

【検討の経緯】

滞在交流型観光を行っていく上で必要な滞在を充実させること、情報を来訪前に届けることは重要なこと。年々、増加させていく目標値を作る。ただし、自然災害の影響により急激に落ち込むことも想定されるため、そういった場合には常に見直しを行う。

【設定にあたっての考え方】

●HPアクセス数

情報発信において最も有効な手段の一つ。認知度向上、滞在コンテンツの利用に繋げるためにもHPの閲覧数を増やしていく考えは重要。

平成29年度は、平成27年実績並みまで回復することを目標値とする。

●滞在コンテンツ利用者数

地域活性化を目指した滞在交流型観光を目指すにあたり、滞在コンテンツを充実させ、利用を拡大させていくことは重要。

平成28年度は前年度の約2倍の参加者数を獲得でき、250名増が達成できたため、毎年250名ずつ増加させていく目標とする。

(別添) 様式 1

●来訪者満足度 (大変満足)

リピーターを増やすためには、満足度調査の内、「大変満足」の数値を高めていくことが重要。
平成28年度は13観光圏の中で最も良い数字であったことから、この数字を維持していくことを最大の目標とする。

●1年以内の再来訪意向

リピーターを増やす取り組みができているかどうかを測ることが重要。
平成27年度から28年度にかけては2%の増加を達成することができたため、毎年2%ずつの向上を目指すこととする。

7. 活動に係る運営費の額及び調達方法の見通し

(1) 収入

年 度	金 額	内 訳
平成28年度	36,312,188円	【収益事業収入】 355,489円 【市町村からの負担金】 19,542,666円 【大分県からの補助金】 741,000円 【大分県からの委託料】 4,301,000円 【国からの補助】 8,422,501円 【その他受託事業】 1,923,972円 【前年度繰越金】 1,766,560円
平成29年度	85,118,200円	【収益事業収入】 700,000円 【市町村からの負担金】 68,033,000円 【大分県からの補助金】 0円 【大分県からの委託料】 1,284,000円 【国からの補助】 14,901,200円 【会費収入】 200,000円
平成30年度	80,584,000円	【収益事業収入】 1,000,000円 【市町村からの負担金】 68,000,000円 【大分県からの補助金】 0円 【大分県からの委託料】 1,284,000円 【国からの補助】 10,000,000円 【会費収入】 300,000円

(2) 支出

年 度	金 額	内 訳
平成28年度	35,077,393円	【事務局運営管理費】 6,020,244円 【ブランド価値の提供に係る事業】 17,240,375円 【ブランド管理に係る事業】 5,635,280円 【マーケティング】 1,000,000円 【法人化に係る費用・その他】 1,035,002円 収益事業にかかる経費】 45,385円 【その他】 4,101,107円
平成29年度	85,118,200円	【事務局運営管理費】 16,200,000円 【ブランド価値の提供に係る事業】 45,317,000円 【ブランド管理に係る事業】 7,600,000円 【マーケティング】 1,000,000円 【収益事業・収益拡大事業】 3,825,300円 【その他】 11,175,900円

(別添) 様式 1

平成30年度	80,584,000円	【事務局運営管理費】	16,300,000円
		【ブランド価値の提供に係る事業】	48,284,000円
		【ブランド管理に係る事業】	7,000,000円
		【マーケティング】	1,000,000円
		【収益事業・収益拡大事業】	3,000,000円
		【その他】	5,000,000円

(3) 自律的・継続的な活動に向けた運営資金確保の取組・方針

- 関係市町村からの負担金の確保
持続的に運営できるDMOを確立するため、法人化にあたり各市町村の負担金を大幅に増額した。
- 滞在プログラムの販売
当観光圏のコンセプトを体感できるプランを販売し、手数料収入を得る。
販売商品数：13プラン（現在）⇒40プラン（H30）
年間利用者数：500名（H28）⇒1,000名（H30）
- ホームページ及びパンフレット等の印刷物への広告掲載
ホームページのバナー広告：10社以上（H30）
印刷物の広告：10社以上（H30）
この他、指定管理受託、レンタル事業（レンタサイクル・カーシェアリング）等、新たな事業の創出
- 各種物販事業（特産品のネット販売や各種グッズ販売など）

8. 日本版DMO形成・確立に対する関係都道府県・市町村の意見

<都道府県の意見>

・大分県、別府市、中津市、宇佐市、国東市、豊後高田市、杵築市、日出町、姫島村は、(一社)豊の国千年ロマン観光圏を大分県および市町村における地域連携DMOとして登録したいので申請します。

9. 記入担当者連絡先

担当者氏名	堤 栄一郎
担当部署名（役職）	一般社団法人豊の国千年ロマン観光圏
所在地	大分県別府市京町11-8
電話番号（直通）	0977-85-8511
FAX 番号	0977-85-8516
E-mail	jikuhaku@millennium-roman.jp

10. 関係する都道府県・市町村担当者連絡先

都道府県・市町村名	別府市
担当者氏名	原田 修人
担当部署名 (役職)	ONSENツーリズム部 観光課 (事務員)
所在地	大分県別府市上野口町1-15
電話番号 (直通)	0977-21-1111 (代表)
FAX 番号	0977-23-0552
E-mail	tou-te@city.beppu.oita.jp

都道府県・市町村名	中津市
担当者氏名	倉本 英太郎
担当部署名 (役職)	観光推進課観光国際交流係 (主幹)
所在地	大分県中津市豊田町14番地3
電話番号 (直通)	0979-22-1111 (内線321)
FAX 番号	0979-24-4020
E-mail	kuramoto.eitaroh@city.nakatsu.lg.jp

都道府県・市町村名	宇佐市
担当者氏名	宮川 やよい
担当部署名 (役職)	経済部 観光まちづくり課 (主幹 (総括))
所在地	大分県宇佐市大字上田1030番地の1
電話番号 (直通)	0978-32-1111 (内線474)
FAX 番号	0978-32-2324
E-mail	tourism04@city.usa.oita.jp

都道府県・市町村名	豊後高田市
担当者氏名	中村 隆弘
担当部署名 (役職)	商工観光課 (係長)
所在地	豊後高田市是永39番地3
電話番号 (直通)	0978-25-6219
FAX 番号	0978-22-0955
E-mail	t-nakamura@city.bungotakada.oita.jp

都道府県・市町村名	国東市
担当者氏名	清成 隆
担当部署名 (役職)	観光課 (課長補佐)
所在地	大分県国東市国東町小原2662番地1
電話番号 (直通)	0978-72-5168
FAX 番号	0978-72-5173
E-mail	kiyonari.takashi@city.oita.lg.jp

都道府県・市町村名	杵築市
担当者氏名	板尾 達憲
担当部署名 (役職)	商工観光課 (係長)
所在地	大分県杵築市大字杵築377番地1
電話番号 (直通)	0978-62-3131 (代表)
FAX 番号	0978-63-3833
E-mail	tatsunori-ita@city.kitsuki.lg.jp

(別添) 様式 1

都道府県・市町村名	日出町
担当者氏名	安田 恵
担当部署名 (役職)	商工観光課 (主幹兼観光係長)
所在地	大分県速見郡日出町2974番地1
電話番号 (直通)	0977-73-3158
FAX 番号	0977-73-3169
E-mail	yasuda.megumi@town.hiji.oita.jp

都道府県・市町村名	姫島村
担当者氏名	岸本 慧
担当部署名 (役職)	水産・観光商工課
所在地	大分県東国東郡姫島村1630-1
電話番号 (直通)	0978-87-2279
FAX 番号	0978-87-3629
E-mail	suikan05@vill.himeshima.lg.jp

都道府県・市町村名	大分県
担当者氏名	甲斐 秀樹
担当部署名 (役職)	企画振興部 観光・地域振興課 (主事)
所在地	大分県大分市大手町3-1-1
電話番号 (直通)	097-506-2122
FAX 番号	097-506-1729
E-mail	kai-hideki@pref.oita.lg.jp

都道府県・市町村名	大分県
担当者氏名	佐藤 健治
担当部署名 (役職)	東部振興局 地域振興部 (副主幹)
所在地	大分県国東市国東町安国寺786-1
電話番号 (直通)	0978-72-0857
FAX 番号	0978-72-0194
E-mail	sato-kenji2@pref.oita.lg.jp

都道府県・市町村名	大分県
担当者氏名	小川 寛之
担当部署名 (役職)	北部振興局 地域振興部 (主査)
所在地	大分県宇佐市大字法鏡寺235-1
電話番号 (直通)	0978-32-1373
FAX 番号	0978-32-4322
E-mail	ogawa-hiroyuki@pref.oita.lg.jp

【区域】大分県 別府市、中津市、宇佐市、豊後高田市、
国東市、杵築市、日出町、姫島村

【設立時期】平成29年4月3日設立

【代表者】

代表理事 田北 浩司・西田 陽一

【マーケティング責任者】

事務局長 堤 栄一郎

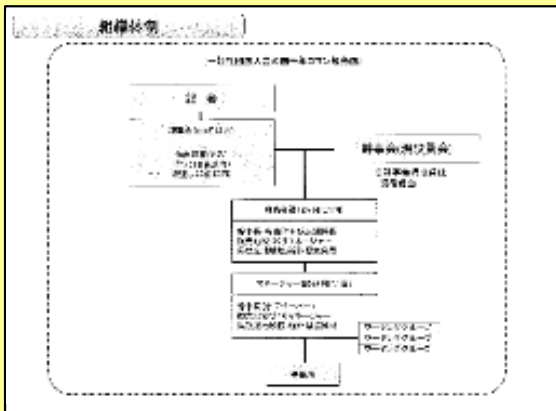
【職員数】

3人

【連携する主な事業者】

各地域の旅館ホテル組合や商工会、農林水産業者、
旅行者、大学、宇佐国東半島を巡る会など

(表:実施体制)



(表:KPI(実績・目標))※()内は外国人に関するもの

	単位	27年(度)	28年(度)	29年(度)	30年(度)
旅行消費額	千円	10,922	11,111	12,402	13,797
延べ宿泊者数	千人泊	2,557 (344)	2,348 (340)	2,580 (377)	2,735 (490)
来訪者満足度	%	85.1	88.4	90.4	92.4
リピーター率	%	58.2	55.0	58.2	60.2

観光施設等に関する取組

圏域内にある観光資源をテーマ(時代)ごとにわけ、これらを周遊する体験プログラムを造成することであたかもタイムスリップしたような旅を提供できる。

神代...比売語曾社、大帯八幡社、大元神社

古代...宇佐神宮、六郷満山寺院、岩屋、峯道

中世...荘園風景、雨引神社、集落

近世...中津、杵築、日出の城下町

近代...別府の近代建築、別府八湯、昭和の町

自然に関する取組

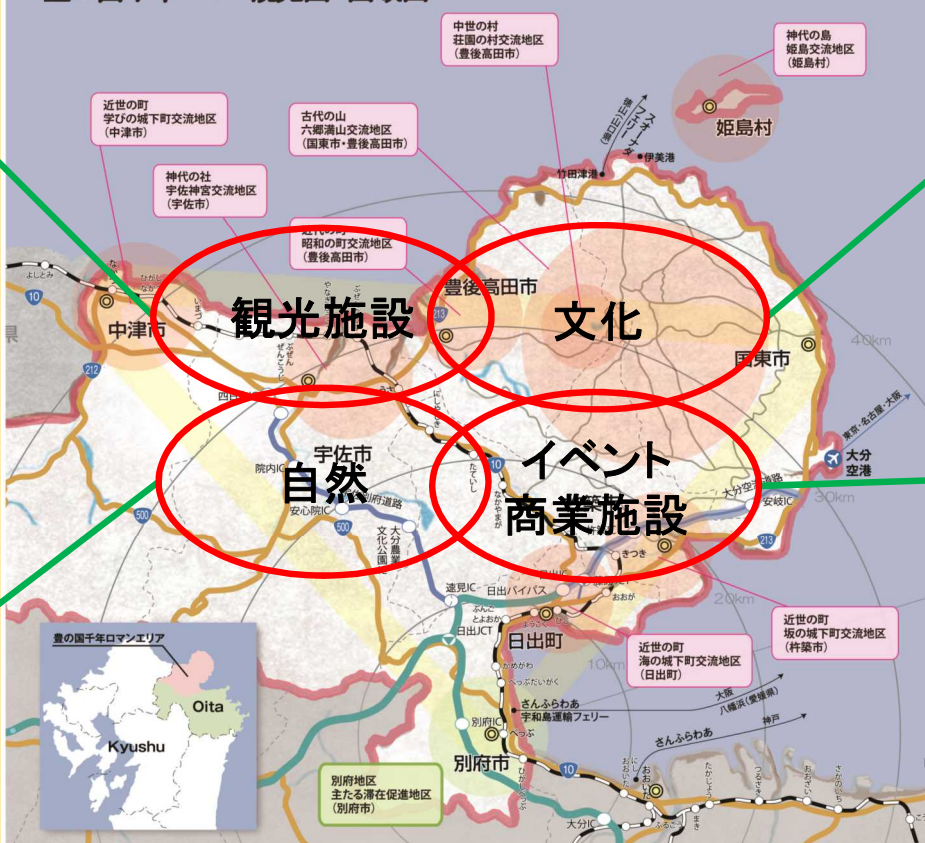
豊後高田市田染荘小崎地区には、平安時代から変わらない田園風景、別府の湯けむり・温泉地景観は重要文化的景観に指定されている。

また、国東半島は世界農業遺産に認定されており、生物の多様性、生態系が守られた土地利用、美しい景観が認められている。

さらに、国東半島北部に浮かぶ姫島は、日本ジオパークに認定されており、春と秋に「アサギマダラ」が休息に訪れ、優雅に舞う姿を見ることが出来る。また、観音崎一帯は、黒曜石産地として国の天然記念物に指定されている。

これらを活かした旅行商品を造成、販売していく。

豊の国千年ロマン観光圏 圏域図



六郷満山文化に関する取組

大分県、市町村、宇佐神宮、宇佐国東半島を巡る会、観光協会などと連携を図りながら、平成30年(2018年)に迎える『六郷満山開山1300年祭(仮称)』に向けた取り組みを行っていく。

また、国東半島地域を周遊するには、自家用車・レンタカーを利用する以外、有効な手段がないため、交通事業者とも連携をして、自動車を運転できない人でも周遊できる仕組みづくりを行っていく。

世界にもここにしかない歴史・文化を世界に発信していくために、行幸会、放生会といった宇佐神宮の特殊神事に関する滞在プログラムを実施する。

イベント・商業施設等に関する取組

圏域内で行われる各種イベントや祭りや旅行商品を組み合わせることで、地域独自の体験を提供できる。